

学校運営協議会だより

文責 CS事務局

回
覧

京極町の教育、令和7年度の目指す子ども像を紹介します。

《目指す子ども像》

「ふるさと京極の未来を思い、語れる子」
～将来への思いをつなぎ 未来を拓く～



学校運営協議会は、目指す子ども像を「ふるさと京極の未来を思い、語れる子」とし、様々な事業を展開しています。そこで、学校運営協議会だよりNo. 10では、「温故知新」昔の事をたずね求めて、そこから新しい知識を求めるため、今回は京極町の親子都市「丸亀市」について触れてみたいと思います。

丸亀市のHPには京極町が次のように紹介されています。

丸亀市の親子都市京極町は、札幌市から車で1時間45分のところにある自然豊かなまち。旧丸亀藩主京極高徳の命により明治30年京極農場が開かれます。この農場から京極町と名付けられたそうです。

日本百名山「羊蹄山」のふもとに位置し、特産品として名水「京極水」「男爵いも」があります。

丸亀市の概要を紹介します。

丸亀市は、香川県の中西部に位置する市。香川県では高松市に次ぐ第二の都市であり、中・西讃地方の中心都市である。中心には丸亀城があり、丸亀市の象徴となっている。また、丸亀うちわの製造が伝統産業で生産量は全国の9割を占めている。右の写真は丸亀城から撮影した飯野山。

〔歴史〕

中心市街は丸亀藩の城下町、また金刀比羅宮への参拝口であり、金毘羅参りの土産物としてうちわの製造が盛んになった。丸亀藩は長く京極氏によって治められ、旧丸亀市の市章には京極氏の馬印である「立鼓」が用いられたり、丸亀港をまたぎ架けられた橋が京極大橋と名付けられるなど名残がある。

(出典：フリー百科事典)

〔食文化〕

- ・讃岐うどん
- ・骨付鳥
- ・月菜汁
- ・どぜう汁



味は濃厚

日香川
本川
一位

日本1位
消費・生産量



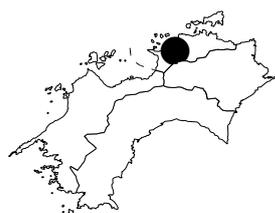
日本1位
生産量



オリーブ

生産量は、
年間 521ト
ン(令和3)
全国の
87.5%生産

●丸亀市 人口 107,405 人



●丸亀城



令和7年6月22日撮影

飯野山(讃岐富士)



金刀比羅宮とJR琴平駅

丸亀市の概要(丸亀城) + 瀬戸大橋を紹介します。

丸亀城で「京極くん」との出会い

丸亀市街地の南部に位置する亀山を利用した平山城。頂部の本丸には江戸時代に建てられた御三階櫓が現存しています。天守の形成した時代に関する研究では、元和元年武家諸法度以降、天守は新造されることはなかったとして丸亀城を三層櫓とする説や、京極氏が入封後に幕府に許可を得て櫓を建てたという説などがあります。天守は重要文化財に指定されています。天守内部は、午前 9:00 より有料で見学が可能です。そこまでの道のりは急な坂道になっています。途中の写真スポットで「京極くん」に出会うことができます。 6/22 現在



瀬戸大橋(倉敷～坂出)とMIMOCA丸亀市猪熊源一郎現代美術館

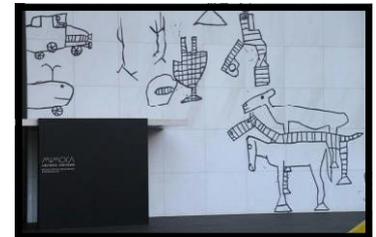
〔瀬戸大橋〕・・・遠くに瀬戸大橋が見えました。

本州岡山県倉敷市と四国香川県坂出市を結ぶ10の橋の総称。1988年に全線開通。道路と鉄道が通る鉄道道路併用橋として世界最長で「世界一長い鉄道道路併用橋」としてギネス世界記録 2015年に認定されています。



〔猪熊源一郎現代美術館〕・・・丸亀駅前徒歩1分

丸亀市の市制執行 90 周年記念事業として、丸亀市ゆかりの画家・猪熊源一郎氏の全面的な協力により 1991年に開館。建築家の谷口吉生氏による美しく、印象的な建築物です。



写真は美術館正面

湧学館にて、丸亀市を調べてみませんか？



【1階展示】

- 丸亀城レプリカ
1600年後半の丸亀城を再現しました。
- 京極町と丸亀市
「町名の由来する京極高德子爵のふるさとを巡る」として様々な印刷物が掲示されています。
- 丸亀と京極 親子都市協定
親子協定締結により丸亀より贈呈された「大うちわ」工芸品が展示されています。

【2階展示】

- パネル展示 先駆者の足跡 京極農場の開墾を解説
※先駆者の足跡と題して京極農場の開墾の歴史をパネルで展示しています

〔ご案内〕 展示物の解説を求めたい方は、教育委員会事務局にお声かけ下さい。京極町ふるさと教育推進支援員が説明をさせていただきます。(業務の都合上ご希望の時間に対応できない場合もあります。ご了承下さい。)

丸亀市の学校運営協議会をチェック

丸亀市のHPによると、令和3年から市内のすべての公立小中学校がコミュニティ・スクールとなり学校運営協議会が設置されると紹介されています。また、コミュニティ・スクールのリーフレットにより、丸亀市が目指す子どもの姿も確認することができました。

《目指す子ども像》

「地域のよさを知り、地域に愛着や誇りをもつ子どもたち」

「保護者や地域、教員が同じ目標やビジョンをもち、役割を分担しながら活動していくことで、目指す子ども像を実現する」としています。

丸亀市の学校運営協議会の実践を、今後は京極町民の皆様にご紹介できればと考えています。